

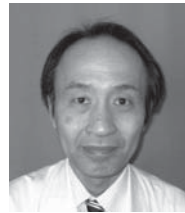
地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合先 地域医療連携室 (☎469-3111 Fax469-7929)

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科部長 裕田猛真

耳鼻咽喉科は、耳や鼻、のどのみを扱うわけではなく、脳や脊椎、眼を除く首から上を扱う科です。このため、最近では耳鼻咽喉科頭頸部外科という呼称も増えています。扱う疾患としては、難聴や耳漏などの



の耳疾患、副鼻腔炎(いわゆる蓄膿)やアレルギー性鼻炎などの鼻疾患、声がれなどのほか、喉頭癌や舌癌といった悪性腫瘍も扱います。甲状腺腫瘍など頸部の腫瘍も耳鼻科の範囲です。

当科は、鼓膜穿孔等の際に行われる鼓室形成術や、副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術などで大阪府下でも有数の実績があります。通常の手術では治らない難聴や先天性の難聴では、まず補聴器の調節を行い、それでも聞こえない場合は人工内耳埋込術が行われます。この補聴器や人工内耳の調節を行う際には優秀な言語聴覚士の存在が必要不可欠ですが、当科にはこれに習熟した言語聴覚士が在籍しており、聞こえの改善に大きく寄与しています。特に先天性の重度難聴児の人工内耳埋込後の言語成績は全国的にも有数の高いレベルです。

耳鼻咽喉科領域で扱う悪性腫瘍では、例えば喉頭癌の場合、手術により声を失うなどの機能の喪失が問題になります。当科では、手術と放射線、抗癌剤をうまく組み合わせながら、なるべく機能を温存しながら治療率も下げない治療を心がけ、実践しております。抗癌剤にも手術にも習熟した当科では、これらをシームレスに組み合わせることができ、高い機能温存を達成できていると考えています。

患者サポートセンター

患者サポートセンター長 松岡哲也

4月から、当院2階正面玄関横に「患者サポートセンター」がオープンしました。



医師、看護師、メディカルソーシャルワーカー、理学療法士、薬剤師、栄養士、事務職員などの多職種のスタッフが集い、安心を届けるサポートセンター。入院前から入院後も一人ひとりを支えやすくをスローガンに、地域の医療機関からの紹介窓口や入院前の支援だけでなく、幅広く医療サービスの提供に努めております。

当院での入院が決定したときから、個別に病状や生活環境などの聞き取りを行い、スムーズな入院医療を受けていただくために、入院前に行う検査などの段取りや服薬状況の確認、必要なリハビリや栄養面での指導もさせていただきます。また、他病院への転院が必要な場合には、みなさんの意向をうかがいながら病院探しのお手伝いもいたします。

入院や手術に関する不安や悩み、今後の生活に関する相談など、お気軽にスタッフにお尋ねください。